



# チャレンジ がんばる企業

■所在地：寒河江市東新山町230-2  
 ■TEL：090-7936-4633  
 ■URL：http://ikiplan.jp/



## 専門家からの支援を受け、業績アップ 創業4年目の地固めを進める



▲代表の菅野治氏。

2016年5月に創業したアイケイアイプラン。代表の菅野治氏は、寒河江市育ちで東京の大学を卒業後、Uターンし山形市内の印刷所で営業経験を積んできた。「学生の頃からグラフィックデザインが好きで、美術展や講演会などにも足を運んでいました。いずれは自分なりに発信できないかとは思っていて、34歳で独立しました。社名は、「粋」を「Innovation by KANNO's DESIGN」にかけて、アイケイアイプランと名付けた」と話す。

同社では、印刷物をはじめ、WEBや映像など、グラフィック関係全般のプランニング業務を行っている。「私はプランニングディレクターとして、山形県内外30組のプランパートナーと協力し媒体の製作をしています。プランパートナーとは、デザイナーやカメラマン、クリエイター、工場のごとです。30組もいるのは多い方で県外のお客様にも驚かれますが、たくさんのお客様にも驚かれますが、たくさんのお客様のジャンルやお客様の予算にあった企画など、幅広く業務を受注できます」と菅野代表は話す。

現在は、受注による仕事主だが、一方で自社独自の発信にも力を入れている。その一つが寒河江市の洋画家・故渡邊八郎尉門

画伯のブランディング事業「HACHIROIMONプロジェクト」だ。2012年に他界した渡邊画伯が描き残した、山形県内の風景画や自画イラストなどの作品を、遺族の承諾を得て、2017年からマブカップやTシャツ、トートバッグなどのグッズを企画し発売している。また、渡邊画伯の作品をもっと知ってほしい思いから、2018年2月から、東北芸術工科大学の学生イラストレーターとの協力のもと制作したLINEスタンプの販売も始めている。このプロジェクトのほかにも、2017年に国有形文化財(建造物)に登録された寒河江市役所庁舎のポストカードも手掛けており、「自分の地元である寒河江市を県内外、世界にPRしていきたい」と話す。



▲「HACHIROIMONプロジェクト」のグッズや「ベースボール YAMAGATA」。

「現在、経理などの事務面も不安がありました。事業を継続していく上での基礎的なことから教えていただきました。売上目標も以前は感覚的でしたが、よろず支援拠点コーディネーターが明確にしてくれてよかったです。一昨年と比べて、昨年は売上が倍になりました。今年も昨年と同程度に推移しています」と喜ぶ菅野代表。よろず支援拠点への相談も、昨年は毎月、今年に入ってから忙しく面会が難しいこともあるが、メールや電話でこまめに連絡を取っているという。専門家によるアドバイスは、着実に数字に繋がっているようだ。

「現在は、名刺や看板、ポスター、チラシなどの受注生産が主ですが、そこから少しでも脱却し、自社商品・自社ブランドを販売・展開していきたいと常々思っています。これまで培ってきた仕事と並行して取り組んでいきたいですね。具体的な数字の目標としては、売上を5年後に5倍にしたいです。かなりの事業規模拡大になるので、今の体制のままやるのか、それとも従業員を雇ってやるのか、事業のスタイルとともに模索中です。紙媒体は、正直、受注産業としては今後厳しくなっていくと思います。そのため、デジタル・サイネージ(ディスプレイ)やプロジェクタなどを使い、映像や文字を表示する広告媒体)やVR(バーチャルリアリティ)など、受注する業務の幅も広がっていききたいです」と今後の展望を話す。

多くのプランパートナーとともに、世の中に情報を発信していく菅野代表。社名の由来となっている「粋」な仕事を、今後も展開していく。